

# おばあちゃんのなみだ

## —家族のためにできることは—

- 1 学年 第1学年〔前期〕  
 2 主題名 家族のために〔4－(3)〕  
 3 ねらい

「たいち」が、思わずおばあちゃんの背中を支えた行動について考えることを通して、家族のために役立とうとする心情を育てる。

- 4 資料名 「おばあちゃんのなみだ」  
 5 展開

	学習活動と主な発問	児童の反応	指導上の留意点
導入	1 長い階段を上った体験を発表する。 ○ 長い石段を上がる時、どんなことを感じますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ、着かないのかなあ。</li> <li>つらいなあ。</li> </ul>	○ 神社等の階段の写真を見せることで、想起させる。
展開	2 資料「おばあちゃんのなみだ」を読んで、話し合う。 ○ おばあちゃんが船津神社に行きたいと言うのを聞いて、「たいち」はどんなことを考えたでしょう。 ○ おとうさんが、おばあちゃんを背負うと聞き、たいちはどんな気持ちだったでしょう。 ◎ おばあちゃんの背中を支えて階段を上っている「たいち」は、心の中でどんなことを考えているでしょう。 3 自分の経験を振り返って話し合う。 ○ 家族のために何かやったことはありますか。また、その時どんな気持ちでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔がなつかしいんだな。</li> <li>行けないからかわいそう。</li> <li>無理なのに。</li> <li>あんな長い階段無理だよ。</li> <li>危ないよ、けがをしたらどうするんだ。</li> <li>お父さん、すごい。</li> <li>しんどいな。</li> <li>お父さんを手伝いたい。</li> <li>けがをさせないように。</li> <li>おばあちゃん、喜んでいいかな。</li> <li>家族のために何かしたい。</li> <li>風呂掃除は大変だったけどがんばった。</li> <li>忙しそうだったので皿洗いを手伝った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人だけでは行きたいところへも行けないおばあちゃんのお気持ちを考えさせる。</li> <li>○ 自分達の体験からも、あの石段を背負って上がるのは容易ではないことを捉えさせる。</li> <li>○ 少し離れたところで見えていた「たいち」が、思わずおばあちゃんの背中を支えた行動について動作化を取り入れながらその気持ちを考えさせる。</li> <li>○ 家族に喜ばれてうれしかった体験を発表させ、温かい心になったことを振り返らせるようにする。</li> </ul>
終末	4 家族からの手紙を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>喜んでもらえるんだ。家族のためにもっと何かしたい。</li> </ul>	○ もっと家族のためにがんばろうという気持ちにさせる。

## 6 授業の概要

### (1) 主題について

この時期の児童は、学校生活にも慣れ、少しずつ活発に行動し始めるが、自己中心性が残り、家族のためを思って行動することはなかなか難しい場合もある。家族に何かをしてもらうのが当たり前で、自分でできることまでもしてもらいたがるケースもある。

本資料では、お父さんの行動に影響を受けて変わっていく主人公「たいち」の気持ちを通して、家族の役に立つことをしようとする気持ちを育みたい。

### (2) 自作資料活用のポイント

#### ア 他教科等との関連

1年生の生活科「みんなみんな大すきだよ」では、家庭生活は家族の仕事や温かさによって支えられていることに気付かせ、家族の一員として進んで自分の役割を果たそうと「お仕事名人」を目指して、家での仕事に進んで取り組ませた。その学習と関連付けるとより効果的である。

#### イ 地域の写真の活用でより身近に

資料には、それぞれの地域で活用しやすいようにイラストを入れているが、校区にある長い石段の写真を見せると話が分かりやすい。

なお、父母や祖父母との同居の有無等、児童の実態を十分配慮しながら指導に当たりたい。



資料に出てくる広両谷にある船津神社

### (3) 指導過程の工夫

#### ア 導入の工夫

生活科の学習「あきって気持ちがいいね」で地域に出かけたとき、神社等の石段を上がる等、共通の体験をさせておきたい。その階段（地域の長い階段）の写真を見せ、上ったとき辛かったことを想起させると、本資料のお父さんの行動がより価値の高いものになる。

#### イ 展開の工夫

中心発問では、少し離れたところで見えていた主人公「たいち」が、祖母の涙を見て思わず近寄って行ったときの心の変化をより深く考えさせるために、動作化や役割演技を取り入れたい。

#### ウ 終末の工夫

生活科で「お仕事名人」を目指して家での仕事を行ったときの保護者から喜びの手紙を読むことでこれからも家族のためがんばろうという意欲をもたせたい。

#### 執筆者より

少しでも困難なことがあると逃れたがる児童がいる。それが他の人のためだと、なおさらである。そういう子ども達にとって、お父さんの行動は、初めは理解しにくいと思われる。「たいち」も、そういう現代っ子であるが、祖母の涙を見て、心に変化が生じたことから、祖母の涙の意味を深く考えさせることがポイントである。

(広小学校 歌田 規予美)